

第一回日本内観学会主催内観療法研修会のご案内

テーマ：「内観療法の基礎から応用まで」を学ぶ

【主旨】

本学会の長年の懸案であった日本内観学会認定の内観面接士が誕生します。そこで、本学会の研修委員会は、資格認定に当たって、第一回の研修会を企画することになりました。最初の内観面接士を取得される方の為の研修会と考えていただいでよいでしょう。本研修会に参加して研修を受けた者は所定のポイントを取得することが出来ます。もとより、必ずしも資格の取得を考えていない方でも内観に関心のある方は、参加を歓迎します。

内観療法は、日本独自の文化風土の中で生まれたサイコセラピー（精神療法・心理療法）であり、その治療構造や面接者と内観者との関係性は、東洋的思想にその基盤を置いている点で西洋由来のサイコセラピーとはかなり相違があります。というのも、この国の精神医療は欧米モデルを導入して発展してきたこともあって、内観療法は、この国の臨床の場では、欧米のそれと比べて普及が進んでこなかったことも事実です。

その理由のひとつは、内観療法がもつ治療効果に関する作用機序が十分に説明されてこなかった点があるかと思えます。内観療法にはどのような仕組みがあつて、それが内観者（クライアント・患者）にどのような作用の仕方をしているのか、治療構造の意味や面接者（治療者）・内観者（患者）関係について、臨床家に分かるような言語化が必要になってきます。もうひとつの理由は、内観療法の体験や研修の場、つまり内観療法を学ぶための研修システムがいままで確立されていなかったことにあります。内観面接士が新たに「心理療法としての内観」を学ぶためには、研修の場が必要不可欠になります。

日本内観学会は、これまでもワークショップや各地で設立された内観懇話会を通してある程度の役割を果たしてきましたが、内観面接士の養成と訓練に関しては、今回初めて取り組むことになりました。今後は、研修委員会が中心となって「初級コースから上級コース」までの講習会を企画することになりました（当分は、初級と中級を募集）。第一回目の内容は以下に案内の通りです。第二回目は、2018年7月21日に青森県弘前市にて開催することが決まっております。その内容は、当日にてお知らせいたします。

【ワークショップの内容】

1. 受講料：3000円
2. 日 時：2018年5月18日 午後1時半～6時半
3. 会 場：京都・佛教大学紫野キャンパス
4. 対 象：日本内観学会員、対人援助職、教育関係者、内観に関心のある方、学生

【プログラム】

<初級コース>

コーディネーター：真栄城輝明（佛教大学/大和内観研修所）

講義： 森下文（奈良女子大学）「体験談及び内観療法の紹介」

橋本 章子（帝京大学）「通院内観療法の実際」（仮）

<初級コースは、講演終了後に実習を体験するが、中級コースは、講演を聞く>

面接者：面接は、森下文、橋本章子の他に内観面接士資格取得者が担当します。

<中級コース>

コーディネーター：真栄城輝明（佛教大学/大和内観研修所）

司 会：小澤 寛樹（長崎大学大学院医歯薬総合研究科

医療科学専攻展開医療科学講座精神神経科学）

講演 高橋美保（東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース）

「内観療法の作用機序と他の精神療法との比較について」（仮）

河合啓介（国立国際医療研究センター国府台病院心療内科）

心身医学領域の応用例（仮）

塚崎稔（長崎三和病院）

病院臨床における内観療法の導入（仮）

【資格認定研修委員会】

真栄城輝明（委員長）・河合啓介・塚崎稔・高橋美保・橋本章子